

平成30年度 地方創生推進交付金事業(評価・検証)

【所管課：農林水産課】

計画	事業名	産学官連携エコシステムによる恵みの海「有明海」活性化事業(荒尾市・長洲町連携事業)					
	【事業概要】						
	<p>町では、干潟の環境悪化や海水の変化により、平成元年頃から漁獲量が激減し、漁業者の数も最盛期の596名(昭和45年国勢調査)から67名(平成25年漁業センサス)に大きく減少している。これは、漁獲高の減少による漁業者の収入減少が要因と考えられ、今後は、この漁業をはじめとした一次産業の再生として、漁場の環境整備と雇用の確保などが求められる。</p> <p>これらの課題を解決するために、あさり貝漁獲高の向上及び有明海の干潟保全を図るため、エイなどの有害生物の除去や調査研究を行うとともに、企業による漁業への新規参入をはじめ、産学官連携による栽培漁業の確立を図ることで、市場ニーズに対応できる海苔やあさり貝の効率的な生産体制を構築し、漁業者の所得向上はもとより、次世代の人材を育成していくことで、付加価値の高い新たな産業を創出する。</p>						
	事業費 (単位: 円)	予算額	14,870,000	決算額	14,869,988	交付金充当額	7,434,994
						一般財源	7,434,994
	【KPI(重要業績評価指標)】						
	KPI(重要業績評価指標)		指標値(H30)		実績値		
	漁業出荷額の増加(千円)		33,890千円増		81,340千円減		
	教育旅行の予約獲得数(件)		1件		0件		
	水産業における新規就業者数(経営体)		5経営体		0経営体		
アサリ漁獲量(t)		80t		72t			
実施内容	【事業実績】						
	<p>あさり漁獲高向上支援事業に伴う補助費 2,188,988円 福岡大学による干潟改善事業に対する補助を実施。土質改善剤(フルボ酸鉄シリカ資材)を活用した、干潟の土質改善により、あさり貝の育成を推進するとともに干潟の保全管理を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> あさり漁獲高向上支援事業補助 1,800,000円 あさり人工種苗 324,000円 一輪車、胴付長靴など消耗品 64,988円 						
	<p>干潟保全事業に伴う補助費 5,000,000円 先進地視察、企業への訪問、水産庁への要望活動等を実施 エイなどの有害生物の除去及び干潟の耕耘等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 干潟保全事業補助 5,000,000円 						
	<p>○海苔の新商品開発に伴う経費 2,500,000円 長洲町産の海苔の調査開発として、日立造船(株)へ調査委託を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 長洲産海苔調査研究業務委託 2,500,000円 						
	<p>○海苔養殖業支援事業に伴う補助費 5,000,000円 海苔の生産性向上や後継者の育成等を図るため、熊本北部漁業協同組合に対して海苔養殖業支援委託を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 長洲町海苔養殖支援事業費補助 5,000,000円 						
	<p>○水産振興に伴う要望活動、企業訪問に係る旅費 181,000円</p>						

評価	<p>【事業評価】</p> <p>干潟保全・漁獲高向上に向けた取り組み 福岡大学と連携して土質改善剤（フルボ酸鉄シリカ資材）の設置を行い、干潟における「あさり貝」の育成状況を調査した結果、生息しやすい干潟環境の修復ができているという成果が出ている。また、徳島大学、鹿児島大学、水産大学校と連携して、アミノ酸ブロックを使った珪藻増殖実験やドローンを活用した干潟の地形調査、浚渫土砂を活用した干潟造成材の製造実験を実施し、干潟環境の把握や珪藻増殖に伴う干潟造成材の製造に係る可能性について成果が出ている。</p> <p>有明海産海苔を活用した新商品の開発 日立造船㈱において、海苔の成分調査と利活用についての研究を実施し、肥料・飼料として利用する場合、製造コストが高くなるため、小規模事業としては収益確保が難しいとの報告が出ている。また、食品・化粧品として利用する場合は、製造コストが抑えられるため、商品化の可能性は高くなり、今後、事業化の可能性が出てくるとの調査結果報告がなされた。</p> <p>海苔養殖業への新規支援への取り組み 熊本北部漁業協同組合と連携し、町内の海苔養殖業者に新規就業者（4名）が従事して海苔養殖のノウハウについて学ぶ体制を構築。海苔養殖業者として独立するための支援を実施している。</p>	
	<p>【外部評価】</p> <p>KPIの漁業出荷額について、目標に到達していないが、もともとの目標値の設定が高すぎたのではないかと思う。事業としては、令和元年度で終了となるため、今後の展開はどのようにしていくのか。事業の効果として、3年間で成果を出せというのは難しい話でもあるので、引き続き、国の補助金なども活用して取り組んで行くべき事業であると考えている。</p> <p>また、KPIの教育旅行の予約獲得件数について、目標値に達成しなかった理由が、学校のニーズに合ったプログラムを提供できなかったとのことであるが、干潟湿地センターなども完成したことから、学習できる体験プランなどを検討していくことも必要であると考えている。今後、事業を検討される際には、SUPなど海洋スポーツの内容充実やSNSにおける情報発信によって社会科見学の増加を図るなど、さらなる事業展開を検討されるとともに、目標項目の見直しも検討してはどうかと思う。</p> <p>海苔の調査については、3年間で色落ち海苔の成分調査や異物混入状況の調査、商品化への可能性調査を行った結果、製品化への可能性が見いだせたところであり、町が包括連携協定を結んでいる石井食品㈱や㈱DHCと連携して、新商品が出来上がることを期待する。</p>	
改善	方針判定	発展して継続する ・ 継続する ・ 事業を見直す ・ 中止する ・ 終了する
	<p>【今後の展開】</p> <p>干潟保全・漁獲高向上に向けた取り組み 土質改善材（フルボ酸鉄シリカ資材）においては、調査結果として、事業効果が出ていることから、今後も、引き続き、調査エリアの拡大も検討しつつ、長期的な実施を行っていく。また、干潟保全に関して、今回の調査実験結果を基に、各大学と連携して、より効率的な取り組みを図っていく。</p> <p>有明海産海苔を活用した新商品の開発 色落ち海苔において、商品化への実用性があるとの調査結果が出ていることから、今後、事業者等と協議を行いながら、具体的な商品開発へと取り組んで行く。</p> <p>海苔養殖業への新規支援への取り組み 現在、4名が海苔養殖業者のもとで勉強されており、引き続き、独立するためのノウハウ習得に向けた支援を図っていく。</p>	

平成30年度 地方創生推進交付金事業(評価・検証)

【所管課：まちづくり課】

計画	事業名	長洲町地域商社による町の活力創出事業					
	【事業概要】						
	<p>「長洲町雇用創造協議会（シャインながす）」は、町内の事業者を対象に商品開発や販路の拡大等に関する各種セミナーを開催することで、地域産品を活用した商品開発に取り組む個別事業者をサポートしてきた。これにより、新たな商品の開発や新規の販路を獲得するなどの一定の成果は生まれてきたが、事業者単独では大手企業が持つような技術やノウハウを獲得することは困難であり、マーケティング戦略に基づいた高付加価値な商品を開発するまでには至っていない。また、石井食品（株）など町が包括連携協定を結ぶ大手企業の持つ技術や販路を活用することで、これまで以上に付加価値の高い商品の開発や海外も含めた大規模な販路を獲得できる可能性があるものの、小規模事業者や生産者等がこれらの大手企業と直接連携した体制を構築することは困難であり、実現には至っていない。</p> <p>さらに、観光施策についても、町内事業者と町が連携した観光イベントの開催や金魚生産者による見学会等を実施してきたが、それぞれの取組みが独立して展開されてきたことから、観光客の周遊性の低さや滞在時間の短さが課題となっており、開発した商品販売と観光施策の連携も弱く、イベント開催時における土産物の販売や飲食店との連携も不十分な状況にあることから、地域の事業者における売上の向上等には結びついていない。</p> <p>そのようなことから、町内事業者と石井食品（株）などの大手企業の取組みを結びつけるとともに、自らも大手企業のノウハウ等を活用しながら、ワンランク上の商品開発や販路開拓、観光施策等にワンストップで対応できる組織を設立し、各施策の効果を相乗的に高めながら、経済好循環や交流人口の拡大、雇用創出等の効果を創出するため、町内の商工会、観光協会、金融機関、漁協、大学、企業などと連携した官民連携による一般社団法人「長洲町地域商社」を設立する。</p>						
	事業費 (単位：円)	予算額	8,000,000	決算額	7,000,000	交付金充当額	3,500,000
						一般財源	3,500,000
	【K P I (重要業績評価指標)】						
	K P I (重要業績評価指標)		指標値 (H29)		実績値		
	地域商社における売上高 (千円)		12,000千円増		553千円増		
	金魚と鯉の郷広場年間来場者数 (人)		2,500人増		40,245人増		
	町内における新規雇用者数 (人)		6人増		1人増		
実施内容	【事業実績】						
	<p>地域商社運営支援業務委託事業 3,000,000円 (予算額) 長洲町地域商社の運営において、事務局員の育成やアドバイスを図り、商品ニーズ等のマーケティング調査や経営戦略を策定するための委託事業を実施。 ・地域商社運営支援業務委託 3,000,000円</p> <p>〇地域商社運営補助事業 5,000,000円 (予算額) 長洲町地域商社としての自立運営に向け、商品開発や販路拡大、観光施策の展開などを実施するための補助を実施。 ・長洲町地域商社運営補助事業 4,000,000円</p>						

評価 (CHECK)	【事業評価】	
	<p>長洲町地域商社運営支援に対する取り組み 平成30年7月から事務局長次長として、1名採用され、(株)アイデアパートナーズにおいて、地域商社運営に伴うノウハウやスキルアップを図るための支援として、事務局員との定期的な協議を図り、地域事業者等とのワークショップなども開催して経営戦略の策定に取り組んだところであるが、3月末での事務局員の退職により、個人が習得した支援成果が失われた結果となっている。</p> <p>長洲町地域商社運営への取り組み 町内事業所や生産者等との連携が図られ、既存商品の販路開拓などを実施しているものの、新たな商品開発においては、体制が確立できておらず、収入源の確保に至っていない状況となっている。また、観光資源を活かした取り組みなど、町の活性化につながる事業展開を図るにあたり、1名での組織体制となっている。</p> <p>今後、社員の増加を検討し、商品開発や販路拡大など各種事業展開を図ることが必要となってくる。さらに、ふるさと納税に係る業務委託などを実施するなど、自主財源の確保が重要となる。</p>	
改善	【外部評価】	
	<p>地域商社において、夏祭りイベントの開催や金魚関連グッズの販売、各種イベントへの参加などにおいて、収益を上げられているが、商品開発などへは繋がっていないとのことなので、収益を得るための商品開発が必要であると思う。また、地域商社の事業戦略書において、金魚の町の総合プロデューサーとして取り組むとあるので、しっかりと活動してもらうためにも、町も含めて周りがしっかりサポートする体制を作ることが大切であると思う。</p> <p>そのほか、新商品の開発も必要であると思うが、今後は、新サービスなども検討されることと思うので、事務局長のほか、1名体制のままでは厳しいと感じる。もっと、社員が増えていけば、様々な取り組みができるのではないかと。独立採算が図れるように、稼ぐ体制の構築に取り組んでほしい。</p>	
	【今後の方針】	
	方針判定	発展して継続する ・ 継続する ・ 事業を見直す ・ 中止する ・ 終了する
	【今後の展開】	
	<p>長洲町地域商社運営支援に対する取り組み 今後は、策定した経営戦略を参考に、コンサルタントへの業務支援の委託は行わず、町において支援を行いながら、新たに事務局員の採用を行い、自立した運用を図っていく。</p> <p>長洲町地域商社運営への取り組み 今後、社員の増加を検討し、商品開発や販路拡大など各種事業展開を図ることが必要となってくる。また、ふるさと納税に係る業務委託や観光交流事業などを実施し、自主財源の確保へと取り組んで行く。</p>	